

平成4年10月9日

## 豊島区議会第3回定例会

# 佐川急便疑惑等の全容解明に関する意見書 などを可決し閉会

9月24日から開かれていた平成4年豊島区議会第3回定例会(副島健議長)が、9日、約92億円の補正予算案及び佐川急便疑惑等の全容解明に関する意見書などを可決し閉会した。

全会派一致で可決された同意見書では、「佐川急便疑惑は、単なる政治資金規制法違反の問題にとどまらず、その過程に広域指定暴力団の介入も取り沙汰されるなど前代未聞の事件である。その事実究明と当事者の対応処理をめぐり国民一人ひとりが議会制民主主義崩壊の危機感をいだき憂慮している」とし、政府に対して「真相の徹底究明と政治倫理の確立、政治資金の規制強化、腐敗防止に関する法整備」を強く要望する内容となっている。【意見書別添】

今回の定例会ではほかに、特別職の報酬改定などの条例案件8件、区立特別養護老人ホーム新築工事などの契約案件6件及び、政府あて『労働基準法の改正を求める意見書』、『大蔵省豊島長崎宿舎跡地(長崎4-21)の地元への還元を求める意見書』も併せて可決された。また、都知事並びに首都高速道路公団理事長あてに中央環状新宿線の周辺環境への適切な対策を求める『中央環状新宿線計画に関する要望書』を提出することを決めた。

詳細 区議会事務局